

(別紙様式 2)

県有ビームライン利用報告書

平成 18 年 10 月 25 日

報告区分

- ①. トライアルユース 2. BL 立上調整 3. 整備チーム利用

実験責任者

(氏 名) 高濱 孝一

(所属、職名) 松下電工株式会社 先行技術開発研究所 機能材料研究室 室長

(住 所) 〒571-8686 大阪府門真市大字門真 1048

(連 絡 先) TEL 06-6909-5679

FAX 06-6900-3214

E-mail ktakahama@mail.mew.co.jp

実験名 Pd-Cu-Si 系金属ガラス合金の構造解析

利用 BL BL15

実験参加者 (全員記入してください。)

氏 名	所 属	職 名
梶田進	松下電工株式会社 先行技術開発研究所	副参事
仲野純章	松下電工株式会社 先行技術開発研究所	主務

実験の概要及び成果 (公表可能な範囲で記入してください。)

【実験の概要】

Pd-Cu-Si 系金属ガラス合金のローカル構造が組成比の差によりどの程度異なるのかは、現時点では詳細不明である。これを検証するため、10keV の入射 X 線エネルギーの下、数種類の試料 (リボン状薄帯/幅: 約 0.3 mm, 厚: 約 18 μ m) についての X 線回折測定を実施した。X 線回折データはイメージングプレート上に記録し、各試料に対する記録時間は 3600 秒とした。

【実験の成果】

X 線回折測定の結果、良好な X 線回折データが得られた。今後これらのデータを解析し、各試料について動径分布関数を求める予定であり、これを基に各試料におけるローカル構造を把握したい。

備考 (利用の感想、センターへの要望などがあれば記入してください。)

色々と迅速に対応して頂き、誠に有り難うございました。

今後とも宜しくお願い申し上げます。